



下島小だより 11月号② (第20号)



下島小では1時30分からそうじの時間が始まります。先日、ちょっと早めに担当のそうじ場所に向かったのですが、そうじ開始まで5分近くあるのに、すれ違うほとんどの子どもの手にぞうきんが握られていることに気づきました。早めにそうじ場所に向かうのが当たり前。いまさらなんですけど、すごい子どもたちだと思います。そういえば、下島小ではろうかをぞうきんでふくのですが、決して人数が多いわけでもなく、一人一人が担当するそうじ場所は高学年も低学年も変わらないのに、みんなもくもくとぞうきんがけをします。暑い夏も冷たい冬もです。いまさらなんですけど、すごい子どもたちだと思います。これが、下島小で育ってきた伝統ならば、ずっと続いていくようにしなければなあ、と思いました。(長々と語ってすいません)



マラソントイムが始まりました！

今年もマラソントイムが始まりました。朝、すがすがしい空気の中、子どもたちが運動場に集まって準備運動から始めます。自分のペースで5分間走る持久走、安全確認もかねて、一緒に走る先生もいます。子どもたちは走ったあと、嬉しそうにマラソンカードに今日の記録の色を塗っています。自活の時間はマラソンカードを2倍ぬれるということで、ひそかに僕も自活に記録を伸ばしつつ、エクササイズしています。(現在79周)



チュギハッキョが開催されました！

11月11日(土)、寺方南小で第30回チュギハッキョ(秋季学校)が開催されました。チュギハッキョは、韓国・朝鮮にルーツがある守口市の子どもたちが毎年集まって、交流したり学んだりする大切な日で、守口市の先生が企画運営しています。まずは子どもたち60人近くで演奏する「サムルノリ(4つの楽器の合奏)」でスタート。この日、初めて合わせたとは思えない迫力に、胸が熱くなります。そのあとは、記念大会ということで、韓国の芸能集団「ノリマダン『ウルリム』」のすばらしい公演をみんなで観ました。と言っても、ノリマダンは観客も参加しながら進む楽しい芸能で、プロの本気の「サムルノリ」に鳥肌が立ったり、「パンソリ(音楽劇)」では「オルス!(よし!)」「チョッタ!(いいね!)」と合いの手が飛びます。みんなで「ボナ(皿回し)」に挑戦したり、「カンガンスルレ(大同遊び)」では会場の大人も子どもも大きな輪になって、一緒に踊りました。文字通り、参加したみんなの笑顔がはじける、すばらしいチュギハッキョで、下島小から参加した子どもや先生も本当に楽しい時間を過ごしました。

